

まもなく学校は2学期が始まる 新型コロナウイルス感染症対策を徹底せよ



自由民主党西東京市議団 遠藤 源太郎

問 コロナ禍、活動制限中の地域コミュニティの再構築を図れ。

答 オンラインを活用したコミュニケーションも効果的だ。新しい地域の担い手の発掘や参加に結びつく。

問 温暖化対策、樹木の伐採・剪定枝は、土に返す施策にするべきだ。

答 今後も焼却する量を減らし、循環型社会を推進し温暖化対策をする。

問 私道の整備、受益者負担の方針は再検討し、市民サービスに供せよ。

答 早期補修を基本に道路の公共性の高さから受益者負担は求めない。

問 都市農業の振興、都市の緑を守るためにも農地の保全対策を進めよ。

答 相続や後継者問題を認識。JAや農業委員会と連携し、農業者の動向も注視し農地の活用・保全を図る。

問 自転車と交通安全、ルールやマナーに問題がある。効果的な対策は。

答 市民の自転車安全利用に関しては、どのような効果的な取組ができるか田無警察署と連携して検討する。

問 まもなく2学期、新型コロナウイルス感染症対策を徹底せよ。

答 夏休み明けをゆるやかに開始するスタートアップ期間を設け、オンライン授業を実施する。昼食は給食を用意し登校する。学びを止めることなく、子ども達と学校をつなげる。



中原小学校オンライン授業の様子

新型コロナウイルス感染防止対策について 公園行政・3・4・9号線について



自由民主党西東京市議団 小林 たつや

問 東京オリ・パラリンピックは批判等様々な反応はあったが無事終了した。過去最多となる日本人選手のメダル獲得を含め、関係者の皆様に敬意を表す。そのような中、市長は徹底したウイルス対策に取り組んでいると思うが、具体策は。

答 ワクチン接種は、8月25日時点で40%の方が2回目を終え、食料支援も開始した。

問 ミニドッグランの試行的な開始を仄聞したがどのようなものか。また市直営の釣堀を作るべきと思うかどうか。

答 ドッグランは常設に向け、検討中だが、小規模公園においての試行も検討している。釣堀については、地域の生態系を大切に池の管理を考えており、新たな活用方法については管理者とともに検討する。

問 東大農場通りの信号機設置と北原2丁目信号撤去について、地元住民が困っているがどうするのか。

答 都と警視庁の協議で決まったものだが、対応を検討したい。

意見 地元新入都議も頑張ってくれているが、早急な信号機設置と歩道の再考を望む。道路は誰のものか？私はそこに住む住民のものとして認識している。早急な対応を望む。



議長公務

市内小・中学校のGIGAスクールについて 視察を行いました

9月24日に本市のGIGAスクールについて、議長が視察を行いました。GIGAスクール構想とは、児童・生徒に1人1台端末と高速大容量ネットワークを整備したICT環境の充実により、これからの社会を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育成する構想です。

今回は、中原小学校と田無第二中学校にうかがい、学校と家庭をつないだオンライン授業の様子や児童・生徒がタブレットパソコンを使用して授業を受ける姿を視察しました。



やる、やらないじゃない やっているのだから応援しようよ



無所属① 小峰 和美

問 新型コロナウイルスが世界中に蔓延している中、聖火はアスリートたちの躍動を照らすと同時に、日本の政治や社会の在り方、五輪の意義など様々な問題を浮かび上がらせた。五輪中止論に寄り添った考えで開催された大会、女子選手が大粒の涙をこぼしながら「逃げたかった」「五輪反対の声を受け止めた半年間、応援してくれる声も、そうじゃない人たちの声も無視はできない」と。

選手には責任がない。やる、やらないじゃない。今、パラリンピックをやっている。応援しようよ。

答 在宅で選手の応援が行えるよう、市HPで応援サイトを紹介している。

意見 東京2020大会のモットーは「感動で心は一つになる」という意味が込められている。リーダーたちに求められるのは、開催意義を力強

い言葉で発信し、分断した人々の気持ちを一つにする努力だ。

その他質問

- ◇新型コロナウイルスの感染抑制
- ◇ワクチン接種年齢枠を超えろ
- ◇ワクチン接種会場を増やせ
- ◇ブレイクスルー感染の対応
- ◇コロナ禍の2学期の在り方
- ◇コロナ禍での授業、口の動きを見る英語、合唱について



ミライトワとソメイティ

令和3年度各会計補正予算の概要

会計名	予算額	補正予算額	計
一般会計	726億6,370万1,000円	40億1,476万円	766億7,846万1,000円
特別会計			
国民健康保険特別会計	184億8,402万2,000円	2億7,558万円	187億5,960万2,000円
駐車場事業特別会計	1億1,301万2,000円	1,819万7,000円	1億3,120万9,000円
介護保険特別会計	172億2,644万3,000円	6億4,502万3,000円	178億7,146万6,000円
後期高齢者医療特別会計	48億5,445万4,000円	3,554万4,000円	48億8,999万8,000円
合計	1,133億4,163万2,000円	49億8,910万4,000円	1,183億3,073万6,000円

※一般会計予算額は補正予算（第1号・第2号）を含みます。
※補正予算額は第3号～第5号の合計額です。

◆一般会計（第4号）

令和3年度補正予算

予算特別委員会

第3回定例会

【結果】賛成全員で可決
【主な質疑項目】
・新型コロナウイルスワクチン接種関連の歳出総額、国費の充当、国庫負担金、補助金充当事業

◆一般会計（第5号）

【説明】歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億4,932万5,000円を追加し、総額をそれぞれ766億7,846万1,000円とする。

◆一般会計（第3号）

【説明】歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ8億3,365万5,000円を追加し、総額をそれぞれ734億9,406万6,000円とする。

【主な質疑項目】
・地方特例交付金減額・地方交付税増額の要因と新型コロナウイルス
・寄附金の使途と寄附者の意向
・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業の申請期間延長に伴う予算額の変更、就業・生活保護につなげた実績・事業評価

◆一般会計（第3号）

令和3年度補正予算

予算特別委員会

第3回臨時会

【説明】歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ30億3,507万9,000円を追加し、総額をそれぞれ765億2,913万6,000円とする。

【主な質疑項目】
・地方特例交付金減額・地方交付税増額の要因と新型コロナウイルス
・寄附金の使途と寄附者の意向
・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業の申請期間延長に伴う予算額の変更、就業・生活保護につなげた実績・事業評価

予算・決算特別委員会の審査から

令和3年度補正予算と令和2年度決算の主な審査内容をお知らせします。
◇質問の詳細は会議録に掲載します。「会議録の公開予定」は8面をご覧ください。